

EDP-XG50用  
プロジェクターファイル転送ツール  
Ver. 1.07  
操作説明書

※ 当操作説明書内の機種名 CP-X807J を「EDP-XG50」に置き換えてご利用下さい。

(株) エルモ社

## 目次

1	はじめに.....	2
1.1	概要.....	2
1.2	システム構成.....	2
2	インストール.....	3
2.1	必要なシステム.....	3
2.2	ファイル転送アプリケーションのインストール.....	3
3	操作方法.....	6
3.1	準備.....	6
3.1.1	プロジェクターユーザー管理ツールの起動.....	6
3.1.2	プロジェクターユーザー管理ツールの終了.....	6
3.1.3	プロジェクターユーザー管理ツール画面.....	7
3.1.4	ユーザーの新規作成.....	8
3.1.5	既存ユーザーの編集.....	9
3.1.6	既存ユーザーの削除.....	9
3.1.7	ユーザーデータの保存.....	9
3.2	アプリケーションの起動.....	10
3.3	アプリケーションの終了.....	11
3.4	メイン画面.....	11
3.5	プロジェクターへの接続.....	12
3.5.1	プロジェクターの登録.....	12
3.5.2	接続.....	16
3.5.3	切断.....	17
3.6	ファイルの転送.....	18
3.7	フォルダの作成.....	19
3.8	ファイル・フォルダの削除.....	20
3.9	画像ファイルの割り当て.....	20
3.10	バージョン情報の表示.....	21
4	制限事項等.....	22

- ・ Microsoft、Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- ・ Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。
- ・ その他の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

### ご注意

- ・ 本ソフトウェアは無償配布ソフトウェアです。本ソフトウェアの係わることによって発生した問題については一切の責任を負いません。
- ・ 本ソフトウェア及び本ソフトウェアを用いたもので、国際平和及び安全の妨げとなる使用目的を有するものに提供したり、またはそのような目的に自ら使用したりしないものとします。  
なお、輸出等される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規則および当該国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

# 1 はじめに

## 1.1 概要

EDP-XG50 用プロジェクターファイル転送ツールは、PC 上のファイルを EDP-XG50 に接続されているストレージメディア（SD メモリ、USB メモリ等）へネットワーク経由で転送するためのツールです。転送可能なファイルは、拡張子が txt, jpg, jpeg, png, bmp でファイル名が半角英数記号（ただし、¥/;, ;\*?"<>|は除く、スペースは可）のファイルに制限されます。

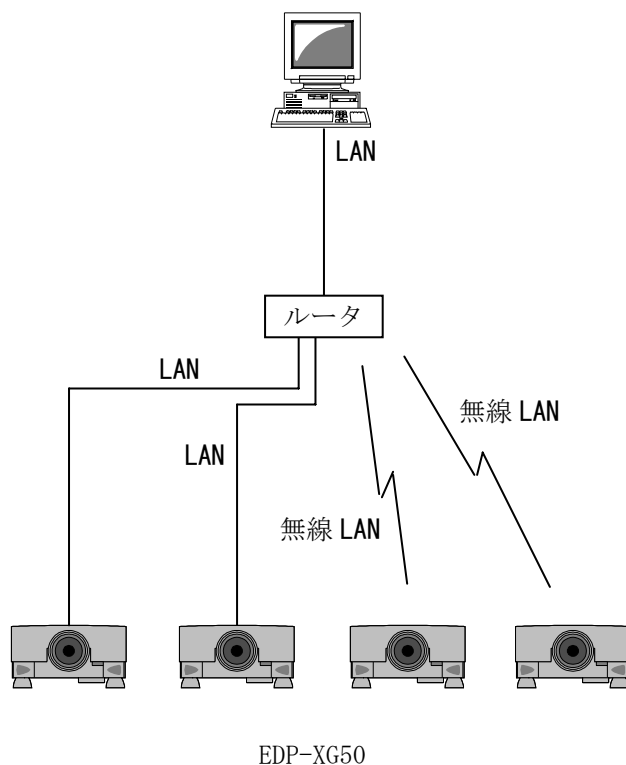
また、ファイルの転送だけでなく、ストレージメディア内の画像ファイルをプロジェクター本体側の [MIU] - [静止画転送] メニューから表示するためのイメージ番号の割り当ても行います。イメージ番号が割り当て可能なファイルは、拡張子が jpg, jpeg, png, bmp でファイル名が半角英数記号（ただし、¥/;, ;\*?"<>|は除く、スペースは可）のファイルです。

### [注意]

- ・ ファイルの転送を行うためには、プロジェクター本体側のネットワーク設定が必要です。プロジェクター本体側のネットワーク設定については、本体に付属の『取扱説明書 - ネットワーク編』をご参照ください。
- ・ プロジェクター本体にストレージメディア（SD メモリ、USB メモリ等）の接続が必要です。接続可能なストレージメディアについては、本体に付属の『取扱説明書 - ネットワーク編』をご参照ください。
- ・ 静止画転送機能を使用するためのプロジェクター本体側の操作方法については、本体に付属の『取扱説明書』をご参照ください。

## 1.2 システム構成

プロジェクターファイル転送ツールを使用するためのシステム構成例を以下に示します。



※ LAN ケーブルはカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルをご使用ください。

## 2 インストール

### 2.1 必要なシステム

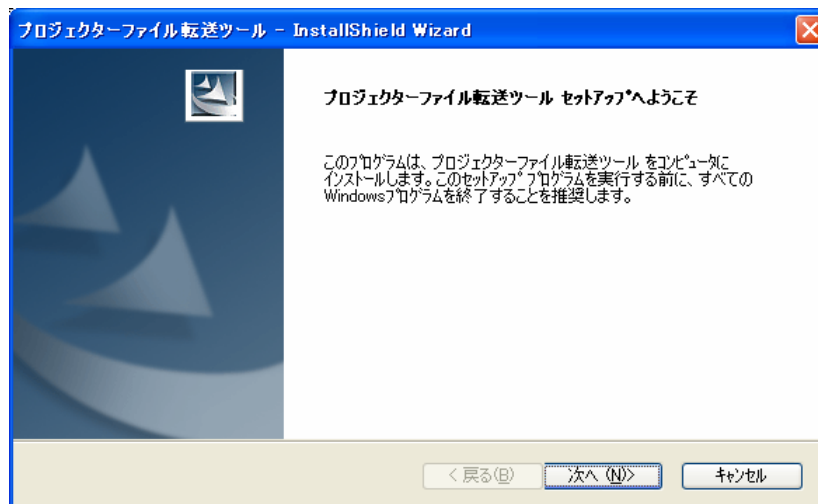
EDP-XG50用プロジェクターファイル転送ツールをご利用いただくために必要なハードウェアおよびソフトウェアは次の通りです。

- (1) オペレーティングシステム  
Windows 2000 Professional  
Windows XP Home Edition  
Windows XP Professional  
Windows Vista Home Basic  
Windows Vista Home Premium  
Windows Vista Business  
Windows Vista Ultimate
- (2) CPU  
PentiumⅢ 500MHz 相当以上
- (3) メモリ  
128MB 以上
- (4) ハードディスク容量  
プロジェクターファイル転送ツールのインストールに最低 3 MB 以上の空き容量が必要です。
- (5) 有線 LAN または無線 LAN  
ファイルの転送および画像ファイルの割り当てを行うために必要です。
- (6) ストレージメディア (SD メモリ、USB メモリ等)  
プロジェクター本体への接続が必要です。

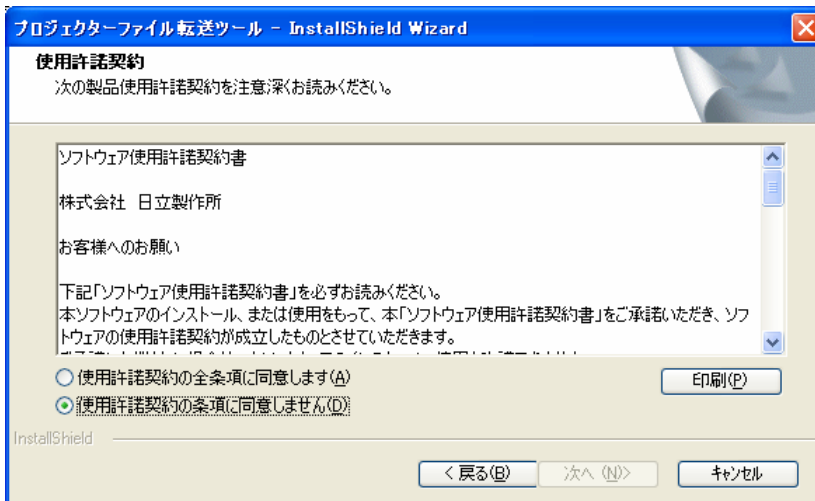
### 2.2 ファイル転送アプリケーションのインストール

プロジェクターファイル転送ツールをパソコンにインストールする手順は次の通りです。  
なお、インストールは管理者権限のユーザーで行ってください。

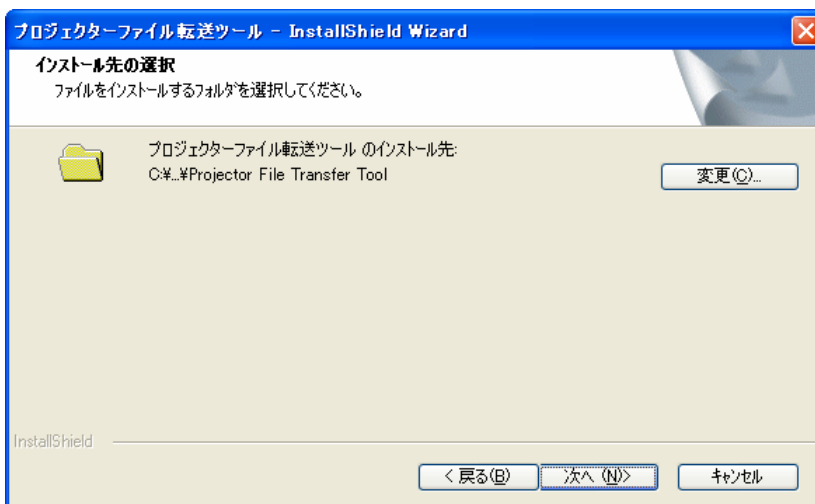
- (1) InstForPJTransfer.exe をダブルクリックします。  
→ セットアップが開始され、以下の画面が表示されます。



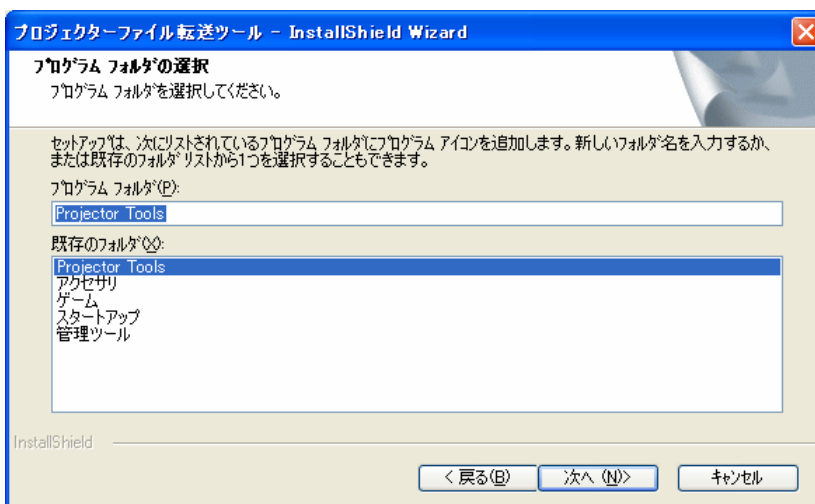
- (2) [次へ] ボタンをクリックします。  
→ [次へ] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



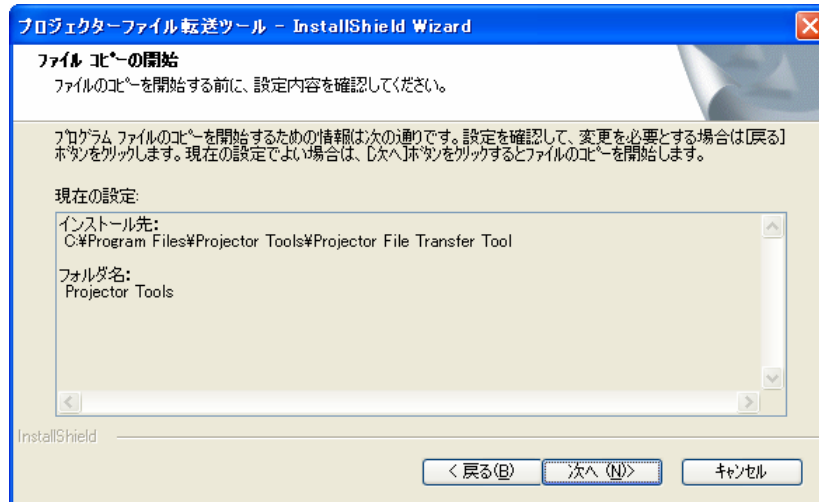
- (3) 「ソフトウェア使用許諾契約書」の内容をきちんとお読みいただき、同意いただける場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。  
→ [次へ] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



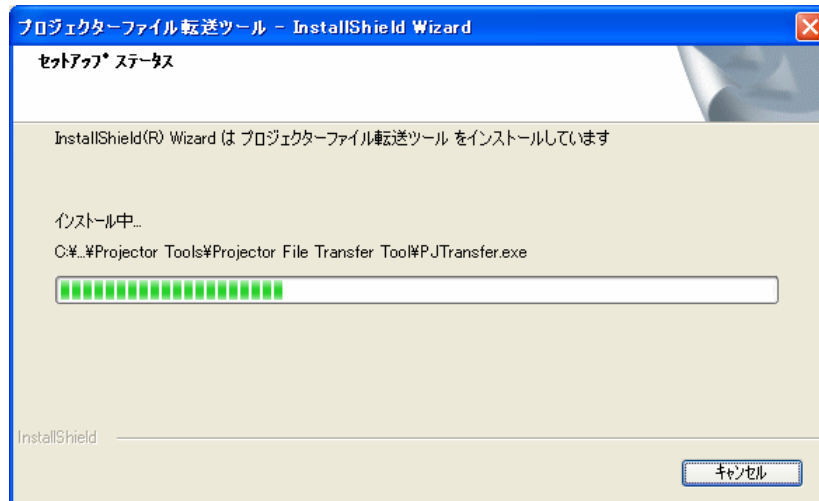
- (4) インストール先のフォルダを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。  
→ [次へ] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



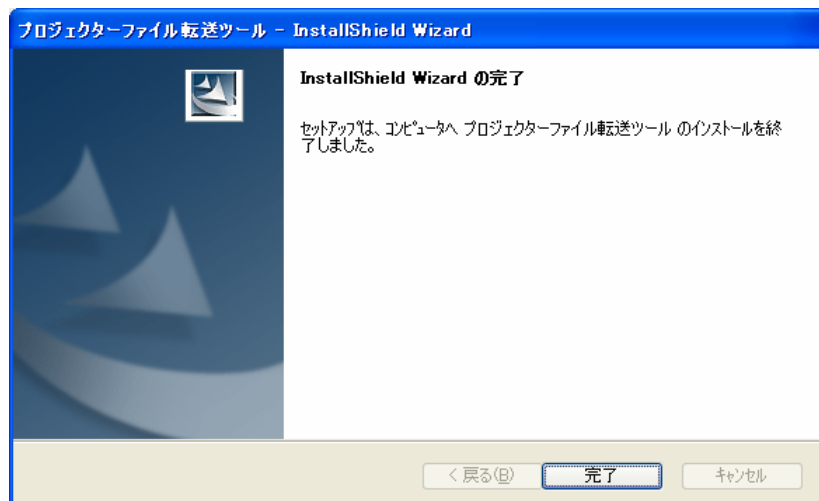
- (5) プログラムフォルダを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。  
→ [次へ] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



- (6) インストール先フォルダおよびプログラムフォルダを再確認して、[次へ] ボタンをクリックします。  
→ [次へ] ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが開始され、以下の画面が表示されます。



- (7) ファイルのコピーが完了すると、以下の画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックすると、セットアップが終了します。



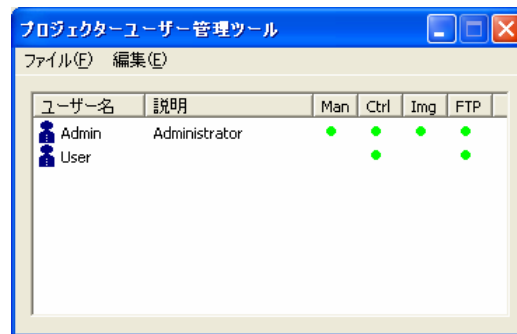
## 3 操作方法

### 3.1 準備

プロジェクターファイル転送ツールを使用するには、ユーザー名およびパスワードが必要です。ユーザー名およびパスワードの登録は「プロジェクターユーザー管理ツール」で行います。

#### 3.1.1 プロジェクターユーザー管理ツールの起動

プロジェクターファイル転送ツールをインストールしたフォルダにある PJUsrEdit.exe を実行します。プロジェクターユーザー管理ツールが起動され、以下のメイン画面が表示されます。



なお、ユーザーが何も登録されていない場合には、プロジェクターファイル転送ツールを起動すると自動的にプロジェクターユーザー管理ツールが起動されます。

また、プロジェクターファイル転送ツールのメニューから [ファイル] - [ユーザー設定] を選択すると、プロジェクターユーザー管理ツールを起動することができます。

#### 3.1.2 プロジェクターユーザー管理ツールの終了

プロジェクターユーザー管理ツールのメニューから [ファイル] - [終了] を選択するか、画面右上の [×] ボタンをクリックするとツールが終了します。ユーザーデータに変更があり、データの保存が行われていない場合には、保存を行うかどうかの確認メッセージが表示されます。

### 3.1.3 プロジェクターユーザー管理ツール画面



#### (1) メニュー

プロジェクターユーザー管理ツール画面のメニュー項目と機能を以下に示します。

メニュー	サブメニュー	機能
ファイル	保存	ユーザーデータをファイルに保存します。
	終了	ツールを終了します。
編集	ユーザーの追加	新規ユーザーを作成します。
	変更	既存ユーザーを編集します。
	ユーザーの削除	既存ユーザーを削除します。

#### (2) ユーザーリスト

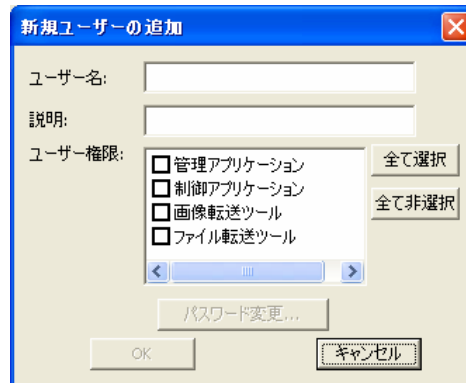
ユーザーリストの各列の表示内容を以下に示します。

列名	機能
ユーザー名	登録済みユーザーの名称 (ID) を表示します。
説明	ユーザーに対するコメント、説明を表示します。
Man	この列に●があるユーザーは管理アプリケーションが使用可能です。
Ctrl	この列に●があるユーザーは制御アプリケーションが使用可能です。
Img	この列に●があるユーザーは画像転送ツールが使用可能です。
FTP	この列に●があるユーザーはファイル転送ツールが使用可能です。



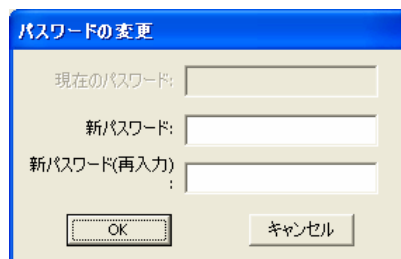
### 3.1.4 ユーザーの新規作成

ユーザーの新規作成はメニューの [編集] - [ユーザーの追加]、または、ユーザーリストを右クリックして表示される [ユーザーの追加] メニューを選択することで表示される「新規ユーザーの追加」ダイアログから行います。



- ユーザー名 …… 追加するユーザー名を指定します。半角 20 文字まで指定できます。
- 説明 …… ユーザーに関する説明を指定します。省略可能です。半角 50 文字まで指定できます。
- ユーザー権限 …… ユーザーの権限を指定します。ユーザーが使用できるアプリケーションまたはツールを制限できます。チェックをつけたツール・アプリケーションが使用可能となります。
- 全て選択 …… ユーザー権限の全権限をチェックします。
- 全て非選択 …… ユーザー権限の全権限のチェックを外します。

ユーザー名を入力すると、[OK] ボタンが押せるようになります。（説明の入力は任意）  
[OK] ボタンを押下すると、以下の「パスワードの変更」ダイアログが表示されます。

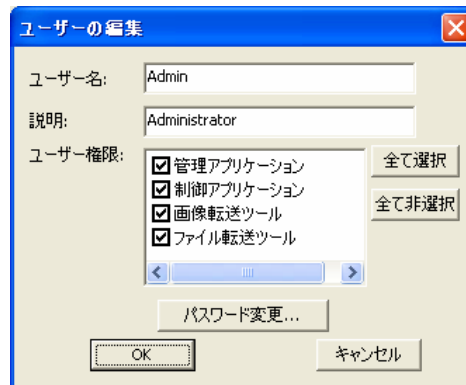


新パスワード入力欄にパスワードを入力し、新パスワード（再入力）欄にも同じパスワードを入力してください。なお、半角 20 文字まで入力可能です。パスワードは必ず設定する必要があります。また、大文字小文字を区別します。

正しくパスワードを入力し、[OK] ボタンを押下するとユーザーが追加されます。

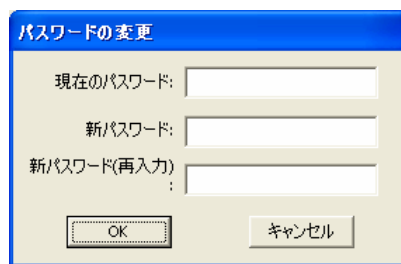
### 3.1.5 既存ユーザーの編集

既存ユーザーの編集は、プロジェクターユーザー管理ツールのユーザーリストで編集するユーザーをダブルクリック、ユーザーリストで編集するユーザーを選択しメニューの「編集」－「変更」を選択、または、ユーザーリストで右クリックして表示されるメニューの「変更」を選択のいずれかを行うことで表示される「ユーザーの編集」ダイアログで行います。



ユーザー名、説明、ユーザー権限を編集できます。

パスワードの変更は「パスワード変更」ボタンを押下して表示される「パスワードの変更」ダイアログで行います。



現在のパスワード入力欄に現在のパスワードを入力し、新しいパスワード入力欄と新しいパスワード（再入力）欄に新しいパスワードを入力します。

全ての項目を入力して、[OK] ボタンを押下するとパスワードが変更されます。

### 3.1.6 既存ユーザーの削除

既存ユーザーの削除は、プロジェクターユーザー管理ツールのユーザーリストで削除するユーザーを選択しメニューの「編集」－「削除」を選択するか、ユーザーリストを右クリックして表示されるメニューから「削除」を選択します。削除時は確認メッセージが表示されます。

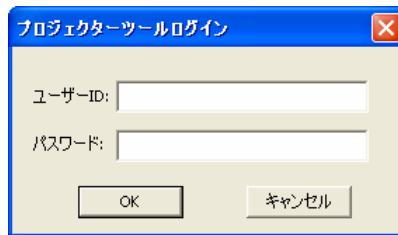
### 3.1.7 ユーザーデータの保存

ユーザーデータを保存する場合は、プロジェクターユーザー管理ツールのメニューから「ファイル」－「保存」を選択します。保存せずに終了した場合は、それまで行ったユーザーデータの変更が全て無効になります。

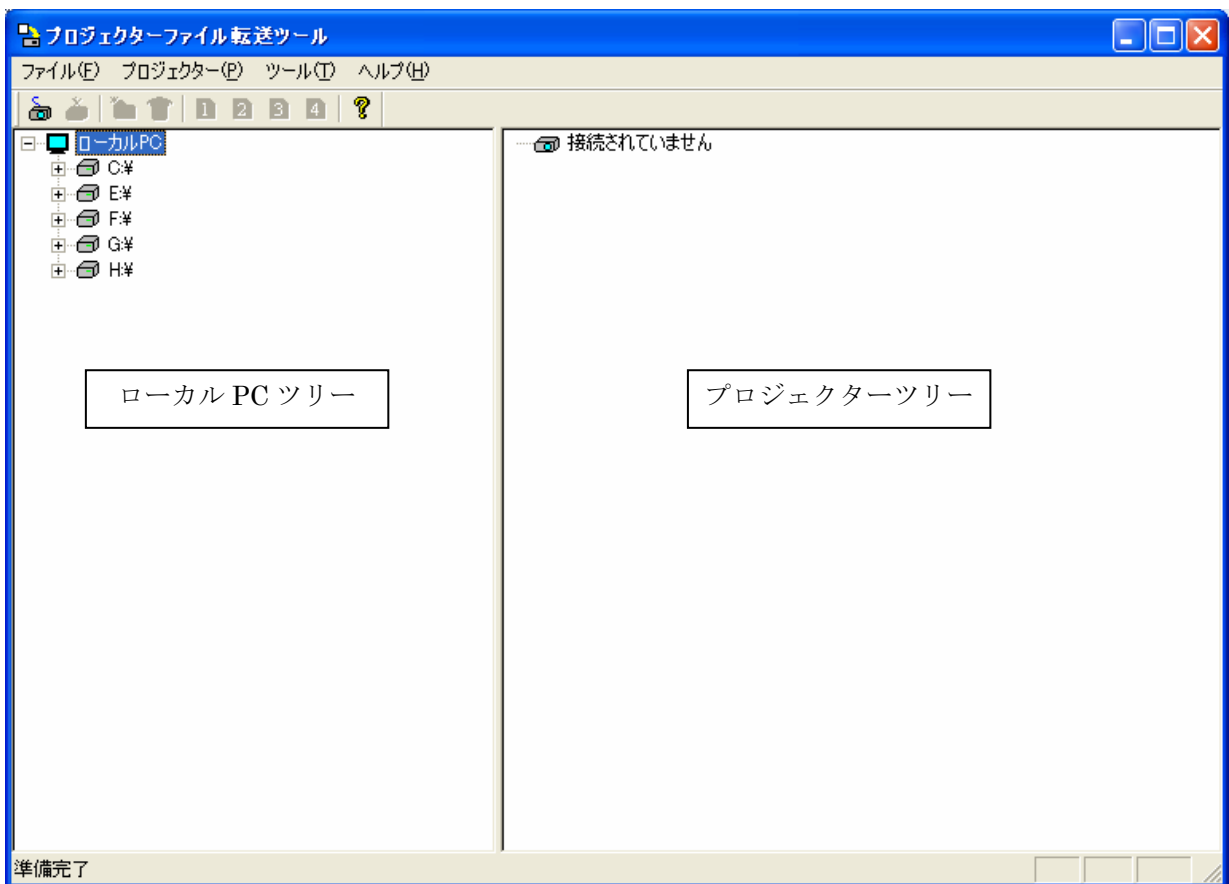
ユーザーデータは、C:\Program Files\Common Files\HITACHI\Projector Tools\config\UserList に保存されます。ファイルがない場合は自動で作成します。

### 3.2 アプリケーションの起動

Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]→ [Projector Tools] → [Projector File Transfer Tool] の順に選択すると、以下の「プロジェクターツールログイン」ダイアログが表示されます。



プロジェクターユーザー管理ツールで登録したユーザー名およびパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。ログイン処理が正常に行われると、プロジェクターファイル転送ツールが起動され、以下の画面が表示されます。



#### ローカル PC ツリー

本ツールを起動した PC 上のディレクトリおよびファイルがツリーとして表示されます。

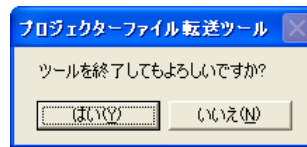
#### プロジェクターツリー

プロジェクターと接続した際に、プロジェクターに接続されているストレージメディア (SD メモリ、USB メモリ等) 上のディレクトリおよびファイルがツリーとして表示されます。

ローカル PC ツリー、プロジェクターツリーとも表示されるファイルは、拡張子が txt, jpg, jpeg, png, bmp でファイル名が半角英数記号 (ただし、¥/:, ;?\*?<>|は除く、スペースは可) のファイルに制限されます。ツリーで表示されるファイルは、ローカル PC からプロジェクターへ、または、プロジェクターからローカル PC への転送が可能です。

### 3.3 アプリケーションの終了

メニューから [ファイル] - [終了] を選択するとプロジェクターファイル転送ツールが終了します。メイン画面右上の [×] をクリックしてもプロジェクターファイル転送ツールを終了することができます。終了時は以下の確認メッセージが表示されます。



### 3.4 メイン画面

#### (1) メニュー

プロジェクターファイル転送ツールのメイン画面のメニュー項目と機能を以下に示します。

メニュー	サブメニュー	機能
ファイル	更新	ローカル PC ツリー、プロジェクターツリーの表示を更新します。
	ユーザー設定	プロジェクターユーザー管理ツールを起動します。
	終了	プロジェクターファイル転送ツールを終了します。
プロジェクター	接続	プロジェクターへ FTP の接続を行います。
	切断	プロジェクターとの FTP 接続を切断します。
ツール	フォルダの作成	プロジェクターツリーで選択したフォルダ下に新規フォルダを作成します。
	削除	プロジェクターツリーで選択したフォルダまたはファイルを削除します。
	イメージ 1	プロジェクターツリーで選択したファイルをイメージ 1 に割り当てまたはイメージ 1 の割り当てを解除します。
	イメージ 2	プロジェクターツリーで選択したファイルをイメージ 2 に割り当てまたはイメージ 2 の割り当てを解除します。
	イメージ 3	プロジェクターツリーで選択したファイルをイメージ 3 に割り当てまたはイメージ 3 の割り当てを解除します。
	イメージ 4	プロジェクターツリーで選択したファイルをイメージ 4 に割り当てまたはイメージ 4 の割り当てを解除します。
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。


#### (2) ツールバー

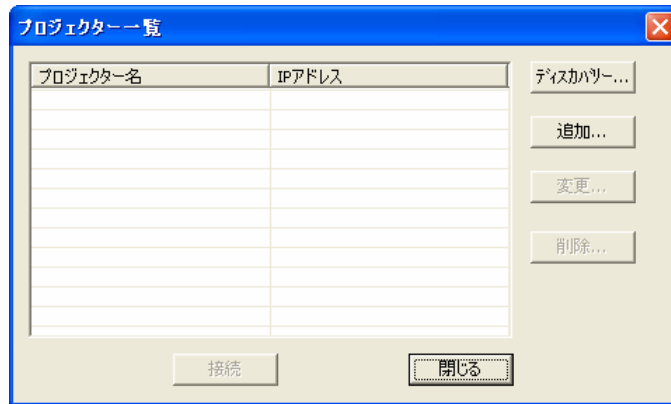
メイン画面のツールバーと対応するメニューを以下に示します。

ボタン	対応メニュー
	[プロジェクター]-[接続]
	[プロジェクター]-[切断]
	[ツール]-[フォルダの作成]
	[ツール]-[削除]
	[ツール]-[イメージ 1]
	[ツール]-[イメージ 2]
	[ツール]-[イメージ 3]
	[ツール]-[イメージ 4]
	[ヘルプ]-[バージョン情報]

## 3.5 プロジェクターへの接続

### 3.5.1 プロジェクターの登録

メニューの [プロジェクター] - [接続] を選択、またはツールバーの  をクリックして表示される「プロジェクター一覧」ダイアログで接続先のプロジェクターを登録します。



ディスカバリー ... ネットワーク上のプロジェクターを検索し、プロジェクター一覧に一括登録します。本ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

#### 【ご注意】

Windows XP SP2 以降の OS で Windows ファイアウォールが有効に設定されている場合、本ボタンをクリックした際に「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示されます。「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示された場合は、[ブロックを解除する] ボタンをクリックして、本アプリケーションをファイアウォールのブロック対象から外してください。また、Windows ファイアウォール以外のファイアウォールソフトウェアをインストールされている場合、本アプリケーションご使用時は設定を無効にしてください。



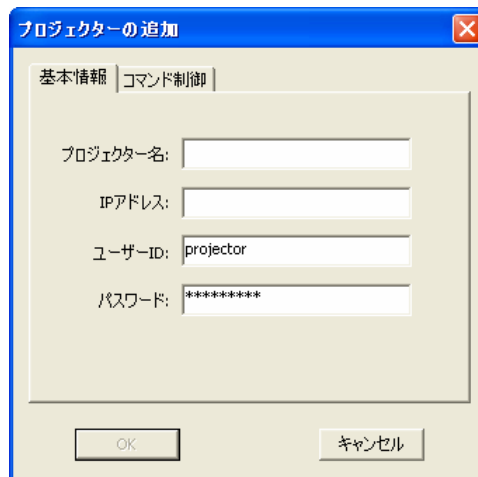
ドロップダウンリストから PC の IP アドレスを選択し [開始] ボタンをクリックすると、ネットワーク上のプロジェクターの検索を開始します。検索結果はプロジェクターリストに表示されます。



[閉じる] ボタンをクリックすると、検索して見つけたプロジェクターをすべてプロジェクター一覧に追加します。なお、プロジェクター一覧にプロジェクター名や IP アドレスが重複しているものがあってもそのまま登録されます。

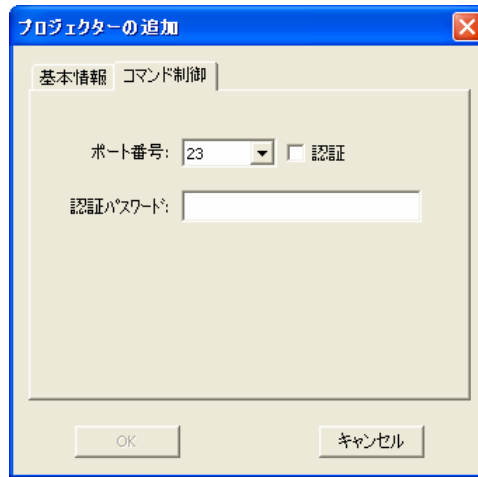


追加 …… 接続するプロジェクターをプロジェクター一覧に追加します。本ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



基本情報タブ  
FTP の接続に必要な情報を設定します。

- プロジェクター名 : プロジェクター名を入力します。
- IP アドレス : プロジェクターの IP アドレスを入力します。
- ユーザー ID : プロジェクターへ接続する際の FTP ユーザー名を入力します。本画面表示時は、デフォルト値の “projector” が設定されています。
- パスワード : プロジェクターへ接続する際の FTP パスワードを入力します。入力した文字はアスタリスク (\*) 表示されます。本画面表示時は、デフォルト値の “projector” が設定されています。



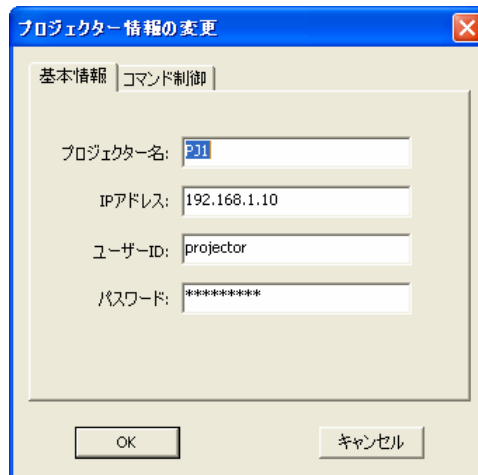
#### コマンド制御タブ

プロジェクターに接続されたストレージメディアの準備を行うためのコマンド送信に関する設定を行います。

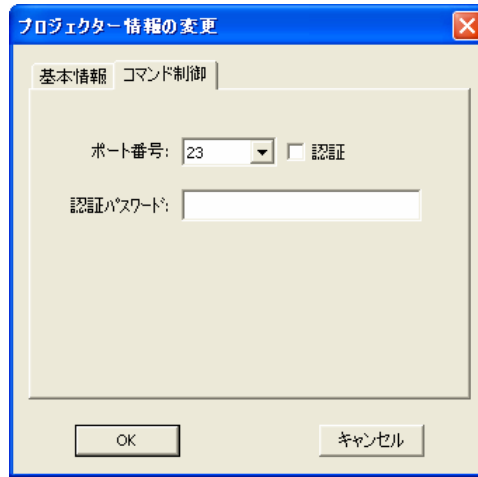
- ポート番号 : プロジェクターのコマンド制御ポートを選択します。
- 認証 : コマンド制御時に認証を行う場合にチェックボックスをオンに設定します。認証あり/なしはプロジェクター側の設定に合わせてください。
- 認証パスワード : 認証に使用するパスワードを入力します。入力した文字はアスタリスク (\*) 表示されます。

#### 変更

- … プロジェクター一覧に登録されているプロジェクターの情報を変更します。リストから情報を変更するプロジェクターを選択し、本ボタンをクリックすると以下の画面を表示します。



- プロジェクター名 : プロジェクター名を入力します。
- IP アドレス : プロジェクターの IP アドレスを入力します。
- ユーザー ID : プロジェクターへ接続する際の FTP ユーザー名を入力します。
- パスワード : プロジェクターへ接続する際の FTP パスワードを入力します。入力した文字はアスタリスク (\*) 表示されます。



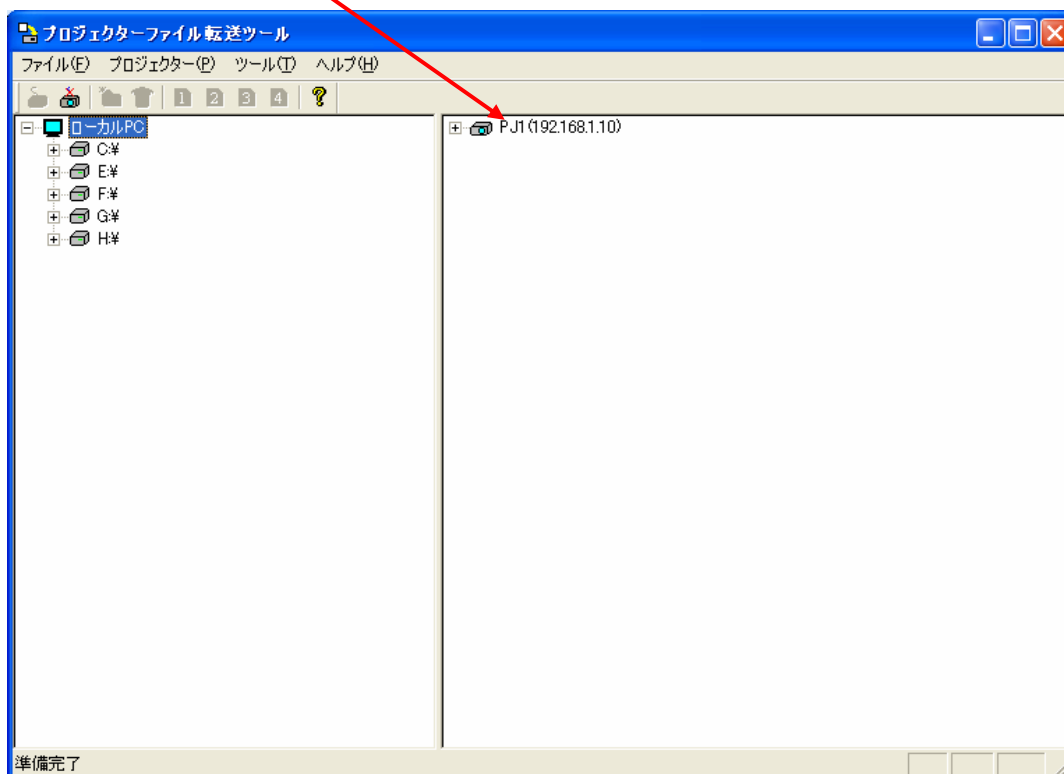
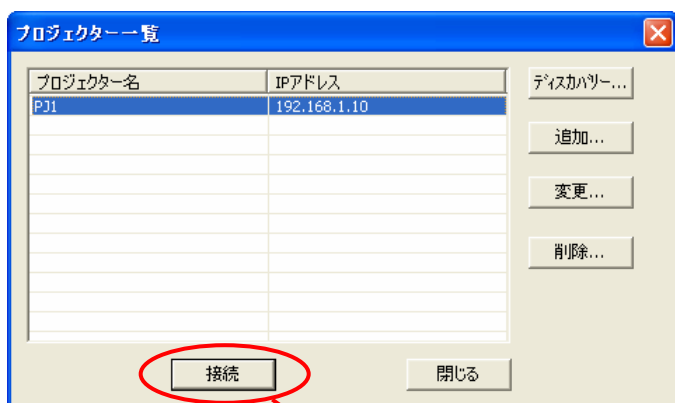
- ポート番号 : プロジェクターのコマンド制御ポートを選択します。
- 認証 : コマンド制御時に認証を行う場合にチェックボックスをオンに設定します。認証あり／なしはプロジェクター側の設定に合わせてください。
- 認証パスワード : 認証に使用するパスワードを入力します。入力した文字はアスタリスク (\*) 表示されます。

削除 …… プロジェクター一覧から選択したプロジェクターを削除します。削除時は確認メッセージが表示されます。

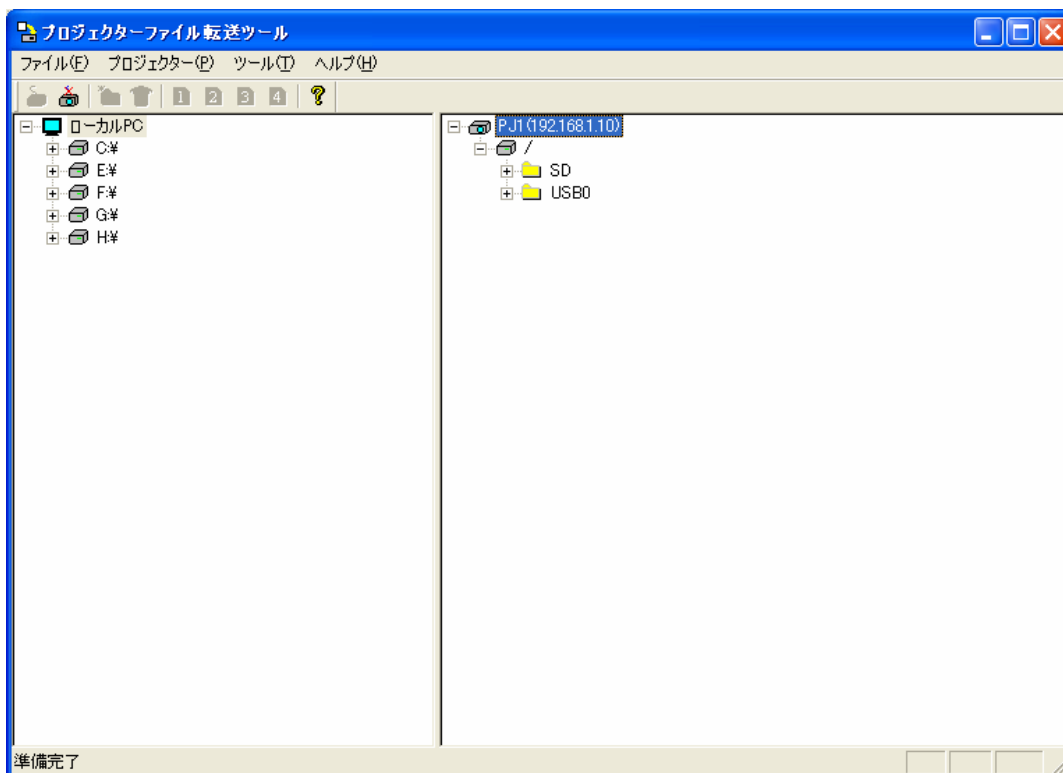


### 3.5.2 接続


「プロジェクター一覧」ダイアログのリストから接続するプロジェクターを選択し、[接続] ボタンをクリックすると指定されたプロジェクターに接続します。プロジェクターとの接続が完了すると、プロジェクターツリーに接続したプロジェクターのプロジェクター名と IP アドレスが表示されます。

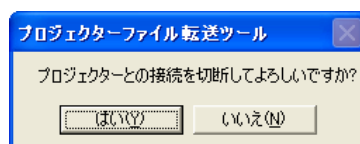


プロジェクターにSDメモリとUSBメモリが接続されている場合、以下のように各メディアがそれぞれ1つのフォルダとして表示されます。



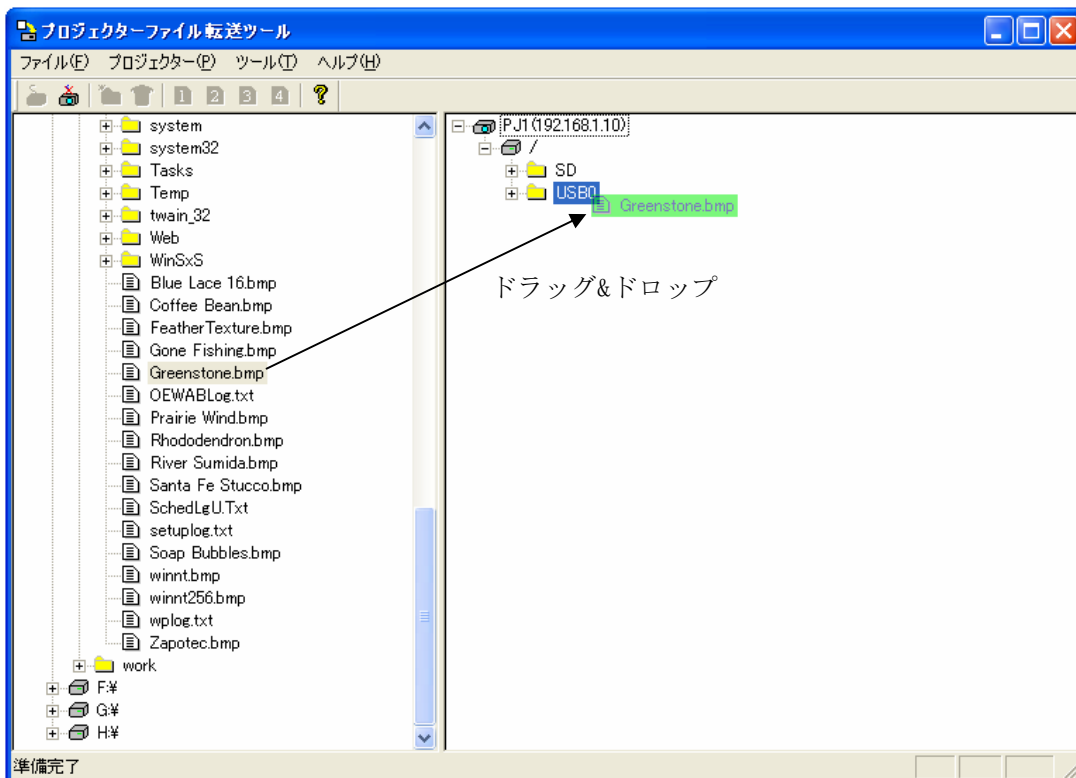
### 3.5.3 切断

メニューの [プロジェクター] - [切断] を選択、またはツールバーの  をクリックするとプロジェクターとの接続を切断します。切断時は以下の確認メッセージが表示されます。

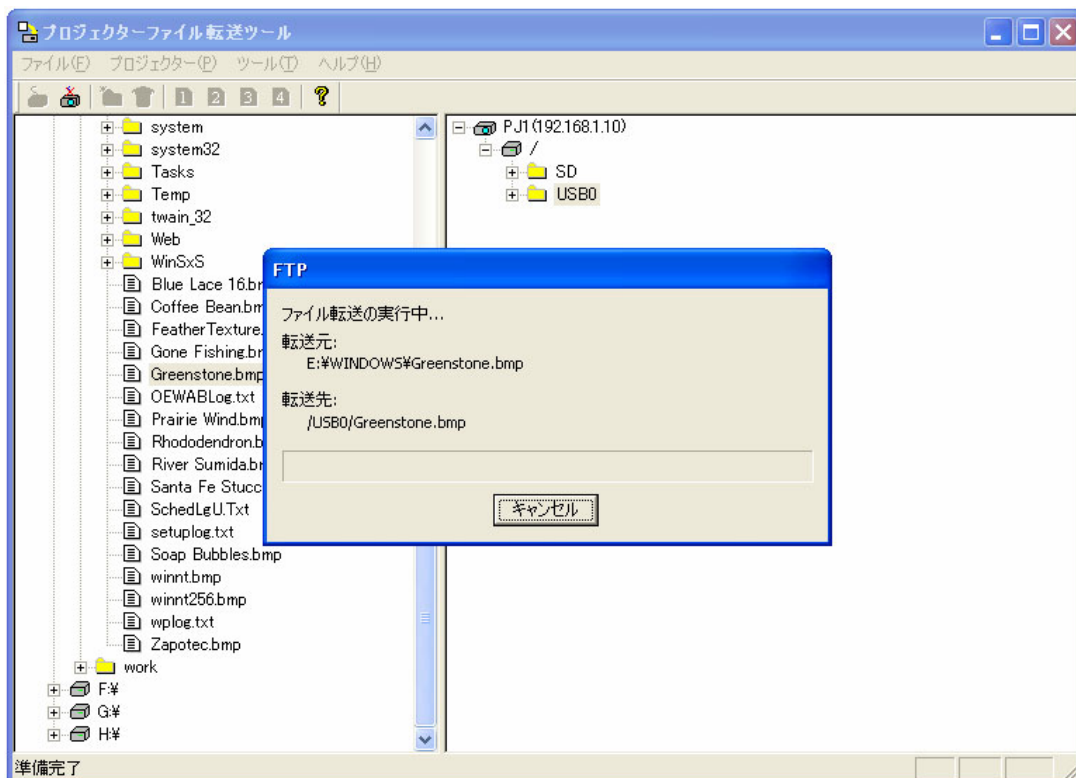


### 3.6 ファイルの転送

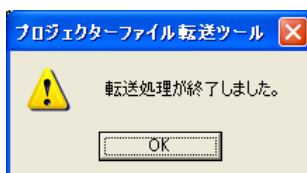
プロジェクターに接続されているストレージメディア（SD メモリ、USB メモリ等）へファイルを転送するには、ローカル PC ツリーから転送するファイルを選択し、ドラッグしてプロジェクターツリーの転送先フォルダの上にドロップします。また、ファイルだけでなくフォルダの転送も可能です。フォルダを転送した場合は、フォルダ内の転送可能なファイル（拡張子が txt, jpg, jpeg, png, bmp でファイル名が半角英数記号（ただし、¥/,:;\*?"<>|は除く、スペースは可）のファイル）のみ転送されます。



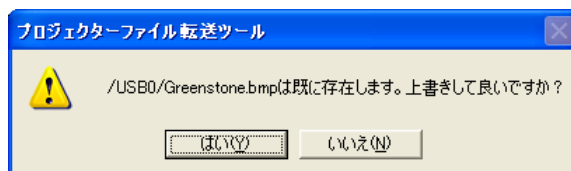
ファイル転送実行中は以下のような画面が表示されます。[キャンセル] をクリックすると転送を中止します。




ファイルの転送が完了すると以下のメッセージが表示されます。

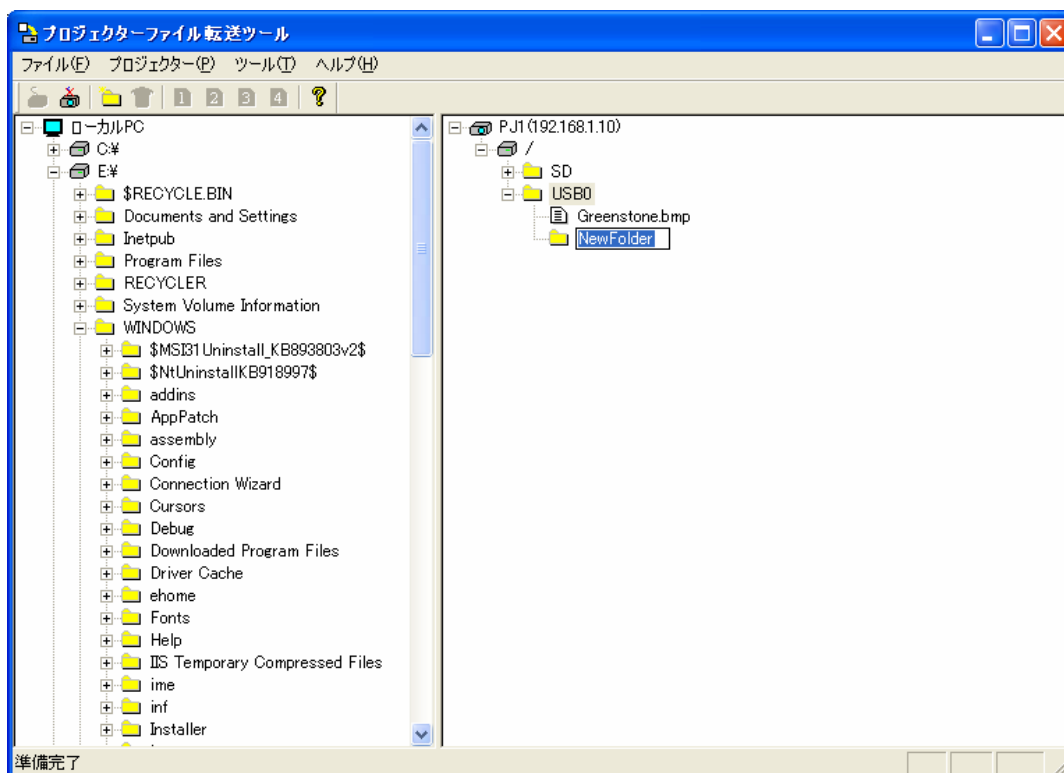


また、転送先に同じファイル名のファイルが存在する場合には、以下のような上書き確認メッセージが表示されます。上書きする場合には、[はい] を選択します。[いいえ] を選択した場合は転送されません。




### 3.7 フォルダの作成

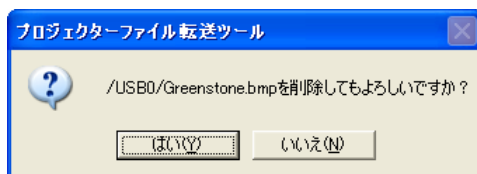
プロジェクターに接続されているストレージメディア (SD メモリ、USB メモリ等) 内にフォルダを作成する場合は、プロジェクターツリーで新規にフォルダを作成するフォルダを選択し、メニューの [ツール] - [フォルダの作成] を選択するか、ツールバーの  をクリックします。また、プロジェクターツリーで右クリックして表示されるポップアップメニューの [フォルダの作成] を選択しても同様の操作ができます。







### 3.8 ファイル・フォルダの削除





プロジェクターに接続されているストレージメディア（SD メモリ、USB メモリ等）内のファイルおよびフォルダを削除するには、プロジェクターツリーで削除するファイルまたはフォルダを選択し、メニューの [ツール] - [削除] を選択するか、ツールバーの  をクリックします。また、プロジェクターツリーで右クリックして表示されるポップアップメニューの [削除] を選択しても同様の操作ができます。

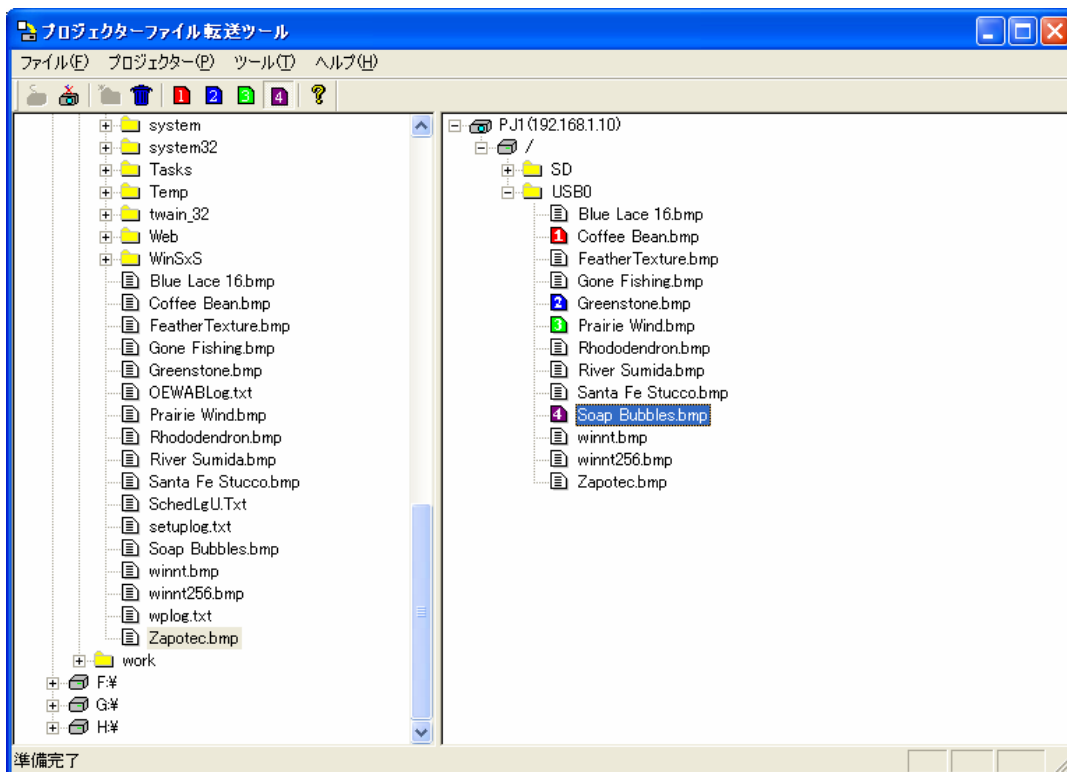
ファイルおよびフォルダ削除時は、以下のような確認メッセージが表示されます。確認メッセージで [はい] をクリックすると、指定されたファイルまたはフォルダが削除されます。なお、削除したファイルを元に戻すことはできません。












### 3.9 画像ファイルの割り当て


プロジェクターに接続されているストレージメディア（SD メモリ、USB メモリ等）内のファイルを静止画転送機能のイメージ1~4に割り当てるには、プロジェクターツリーで静止画転送機能に割り当てるファイルを選択し、メニューの [ツール] - [イメージ1]、[イメージ2]、[イメージ3]、[イメージ4] を選択するか、ツールバーの     をクリックします。また、プロジェクターツリーで右クリックして表示されるポップアップメニューの [イメージ1]、[イメージ2]、[イメージ3]、[イメージ4] を選択しても同様の操作ができます。なお、静止画転送機能に割り当てできるファイルは、拡張子が jpg, jpeg, png, bmp の4種類です。

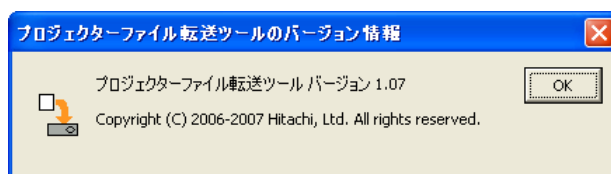
静止画転送機能に割り当てられたファイルは、プロジェクターツリーでのアイコン表示が     に変わり、メニューにはチェックマークが付きま



画像ファイルの割り当てを解除する場合は、再度、メニューの [ツール] - [イメージ1]、[イメージ2]、[イメージ3]、[イメージ4] を選択してチェックマークをはずすか、ツールバーの     をクリックします。割り当てが解除されると、プロジェクターツリーでのアイコン表示は、元のアイコンに戻ります。また、1つのファイルを複数のイメージ番号に割り当てた場合、プロジェクターツリーでのアイコン表示は  に変わります。実際に割り当てられているイメージ番号はツールバーの     の状態で確認できます。

### 3.10 バージョン情報の表示

メニューの [ヘルプ] - [バージョン情報] を選択、またはツールバーの  をクリックするとプロジェクターファイル転送ツールのバージョン情報が表示されます。



## 4 制限事項等

- ▶ 以下のフォーマットの画像ファイルは、静止画転送機能のイメージ1~4に割り当ててもプロジェクターで表示できません。
  - プログレッシブ形式の JPEG ファイル
  - 16ビットカラーのビットマップファイル
  - インターレース形式の PNG ファイル
- ▶ 本ツールでプロジェクターと接続した後、ネットワークが切断された場合や本ツールが異常終了した場合は、プロジェクター側が FTP ログイン中のままとなり、20分間は再接続できません。20分以内に再接続を行う場合は、Web画面に管理者権限でログインし Network Restart を実行するか、プロジェクターの詳細メニューから MIU→特別な設定→MIU リスタートを選択して、MIUのリスタートを実行した後に再接続を行ってください。